

ウリ科 アレチウリ属

アレチウリ (荒れ地瓜)

Sicyos angulatus L.

総合対策
(緊急)

特定
外来生物

自生環境

河川敷、荒れ地 など

原産地

北アメリカ

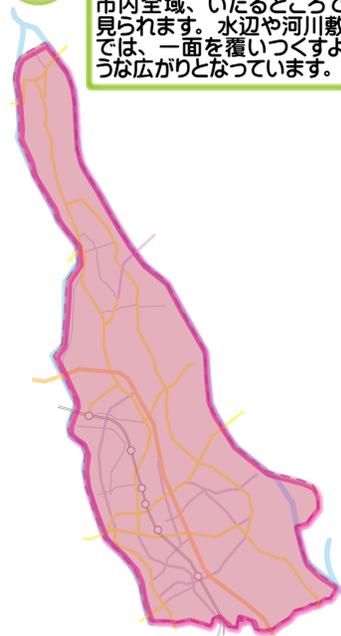
予想される被害



一度侵入すると、あたり一面を覆いつくす勢いで広がり、その場所の植生に壊滅的な打撃を与えてしまいます。また、果実に鋭い刺が多く、肌に突き刺さります。

市内の分布状況

市内全域、いたるところで見られます。水辺や河川敷では、一面を覆いつくすような広がりとなっています。



特徴

- ☆ 北アメリカ原産で、1952年に静岡県清水港で初めて見つかりました。輸入大豆に混入して渡来したと考えられています。種子は水流でどんどん拡散することから、河川敷などの水辺で繁茂し、手に負えないほど広がっています。
- ☆ 1年草ながらも成長がとても早く、発芽してからあっという間につるをのばし、あっという間にあたりを覆いつくします。葉はしばしば大人の手のひらよりも大きくなります。茎や葉は毛がかなりざらつきます。葉わきから巻きひげを出します。
- ☆ 夏～秋に淡い黄緑色の花を次々咲かせます。雌雄同株ではあるものの雄花と雌花は別々につきます。花は蜜や花粉が豊富で、チョウやハチなど多くの昆虫が訪れます。果実は平たいアーモンド形で、球形に集まってつきます。果実には鋭い刺が多く、これで動物の体毛に刺さり、中のタネを遠くに運びます。

すべてを覆いつくす

アレチウリは外来生物法にもとづく「特定外来生物」に指定されています。それは、全国各地の河川敷で猛烈な勢いで繁殖し、手に負えなくなってしまっているためです。葉が大きい上に、つるの成長がとても早く、しかも繁殖力も強力で、あっという間に一面を覆いつくしてしまいます。アレチウリに覆われてしまうと、他の植物の育つ余地がなくなり、地域の植生が破壊されてしまうのです。



夏～秋に多数の花を次々咲かせる

花は蜜や花粉を求めて多くの昆虫がやってくる



中心の黄色い部分が雄しべのあつまり

雄花



雄花よりも小さい

雌花



果実は鋭い刺が多い。うかつにさわると肌に刺さる

果実のあつまり



発芽したてのアレチウリ。大きな丸い子葉が目立つ

葉は3～7つに浅く切れ込み、掌のようなかたち



つるを旺盛にのばして、一面を覆いつくしてしまう



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

